

調達管理番号・案件名
25a00657_全世界(広域)円借款事業に係る標準入札書類(英語版)土木工事／デザインビルド 改訂業務(国内業務)(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2025年11月21日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	2	本案件、パートナーサイトから見ると「配布資料はありません」と表示されましたが、18日ダウンロード期限の資料はないという認識であってありますでしょうか。	本案件、パートナーサイトから見ると「配布資料はありません」と表示されましたが、18日ダウンロード期限の資料はないという認識であってありますでしょうか。	本件では、配布資料はございません。
2	10	(8)AIを含むICT技術の活用 本業務は文書・文章の分析が多くなるため、テキストマイニングといったAI技術の適用可能性が高く、これを推奨する。利用する可能性がある技術についてはプロポーザルに記載し、また実施中に提案する場合には都度発注者と相談し決定すること。 ただし、発注者あるいはその他組織の非公開資料をインターネット接続されたAI等に適用する場合、事前に発注者に相談の上、許可を得ること。	利用できるAIについての質問です。 インターネット接続されたAIを適用とありますが、例えばchatGPTであれば「チャット履歴と学習(Chat history & training)」をオフ」にすることで学習履歴に使われることはなくなりますが、この場合でも制限対象になりますでしょうか。また、同時にAPIを利用した場合でもインターネット接続はされるため、相談の対象となりますでしょうか。もし、利用を想定しているAIがありましたら、併せてご教示いただけますと幸いです。 よろしくお願ひいたします。	特に現段階でこちらで利用を想定しているAIはございません。ご利用される可能性のある場合は、その旨プロポーザルに記載し、制限の有無等も含めご確認の上ご相談ください。
3	11	改訂説明資料の作成と対内外説明会の実施	「説明会はオンラインで行い、日本語4回、英語2回を想定」と指示がありますが、本説明会は内部説明及び対外説明の合計回数を想定されていますでしょうか。または対外説明の回数のみでしょうか。また、本邦関係機関に対し対外説明を実施することが想定されていますが、英語2回の対外説明会を実施する場合の対象者は本邦関係機関以外の機関も想定されていますでしょうか？	内部(JICA職員)及び外部(非JICA職員)向けの説明会を合計6回、うち日本語4回、英語2回を想定しています。日本語4回のうち2回はJICA職員向け、2回は外部向け、英語2回はJICA職員(在外事務所ナショナルスタッフ)を想定しておりますが、それに拘るものではありません。
4	11	説明会はオンラインで行い、日本語4回、英語2回を想定、録画する。受注者は、説明会に同席、主要説明は発注者が行う想定だが、詳細部分について説明を行うこともあり得る。必要に応じて質疑応答に加わること。参加者意見を踏まえ、発注者と協議の上、必要に応じて改訂案を修正し、最終成果物としてJICAに提出する	本業務の説明会について確認をお願いいたします。 日本語4回・英語2回と記載されていますが、これは「作成した新SBDの同一内容(改訂内容・理由等)について、それぞれの言語で計6回説明を行う」という認識であつておりますでしょうか 異なるようであればご指摘ください。 よろしくお願ひいたします。	日本語4回・英語2回の説明会は「作成した新SBDの同一内容(改訂内容・理由等)について、それぞれの言語で計6回説明を行う」という想定です。但し、説明会実施の過程で改善・修正点等発覚すればそれ以降の説明会において内容・理由等の変更修正があり得ます。